

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認のうえ、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理を
依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

お客様相談センター【ご利用時間 9:00～18:00】※全日対応(土・日・祝日対応)

●フリーダイヤル

☎ 0120-20-8822 ※携帯電話、IP 電話からもご利用いただけます。

全国営業拠点

■支店の移転等により連絡がとれない場合は、下記のアドレスから
最新の電話番号をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>



●北海道支店	TEL (011) 786-5122	●北陸支店	TEL (076) 263-4311
●東北支店	TEL (022) 288-8676	●関西支店	TEL (06) 7167-3644
●東京支店	TEL (03) 5753-7703	●中国支店	TEL (082) 504-8282
●関東支店	TEL (03) 6374-5687	●四国支店	TEL (087) 863-6761
●中部支店	TEL (052) 533-0231	●九州支店	TEL (092) 621-5772

工機ホールディングス株式会社

〒108-6018 東京都港区港南 2 丁目 15 番 1 号 (品川インターシティ A 棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>

部品コード C99257802 307 G

HIKOKI

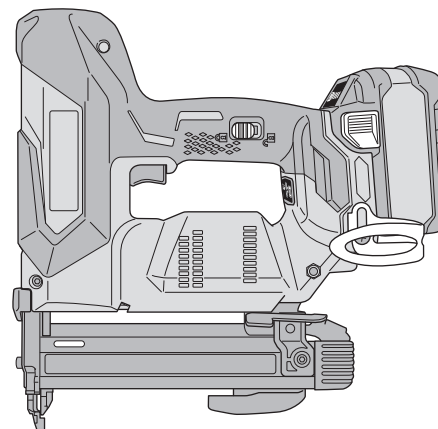
取扱説明書

コードレスタッカ

36 V N 3604DJ

36 V N 3610DJ

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



用途

- 建築、新建材の固定、建築部材製造
- 吸音ボード、壁下石こうボード、化粧合板 (プリント合板)、断熱材張り作業
- 家具の製造

はじめに

コードレス工具の安全上のご注意…	1
本製品の使用上のご注意……………	5
リチウムイオン電池の使用上のご注意…	8
各部の名称……………	9
標準付属品……………	10
仕様……………	11
別売部品……………	12

使い方

スイッチのロック機構について…	13
蓄電池の取付け・取りはずし ……	13
フックの使い方……………	14
ベースについて……………	14
ノーズキャップの使い方……………	15
プッシュレバーの作動確認……………	16
ステープルの装てん……………	17
ステープルの打ち方 ……	18
打ち込み深さの調整……………	19
空打ち防止機構について……………	20
ステープルの取扱い方……………	20
LED ライトの使い方 ……	21
警告シグナルについて……………	22
ステープルを打つ……………	23

その他

保守・点検……………	25
ご修理のときは……………	裏表紙

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用する
ことはできません。日本国外で使用了場合は、仕様上の
性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理
または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be
sold or used in any other country. Otherwise, product may not
perform as intended. No authorized service or warranty is
available outside of Japan.

⚠警告、⚠注意、注の意味について

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容の注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容の注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要な注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- ① **専用の充電器や蓄電池を使用してください。**
弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。
指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。
- ② **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
 - コードレス工具は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。
感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。
発火や火災の恐れがあります。
- ③ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ④ **加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。

⚠警告

- ⑤ **次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。**
 - 使用しない、または、準備・調整・保守・点検する場合。
 - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑥ **不意な始動は避けてください。**
スイッチに指を掛けて運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑦ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。事故やけがの原因になります。

⚠注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、コードレス工具に触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
 - 安全の責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない所または鍵のかかる所に保管してください。
事故の原因になります。
 - コードレス工具を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
発煙、発火の恐れがあります。

⚠注意

- ⑤ 作業に合ったコードレス工具を使用してください。
- 小形のコードレス工具やアタッチメントは、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元を安定させて、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの原因になります。
- ⑧ コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
 - 付属品や先端工具の取付け・取りはずしは、取扱説明書に従ってください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑨ 調整キーやスパナなどは、スイッチを入れる前に取りはずしてください。
- 調整キーやスパナなどの工具類が、取りはずしてあることを確認してください。
付けたままでは作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑩ 油断しないで十分注意して作業をしてください。
- コードレス工具を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- ⑪ 十分な防じん対策や飛散防止対策をしてください。
- 特に、人体に有害な成分を加工するときは注意してください。
- ⑫ アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用しないでください。
- アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。

⚠注意

- ⑬ 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。
- ⑭ コードレス工具の修理は、専門店に依頼してください。
- サービスマン以外の方は、工具本体や蓄電池の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
 - コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
 - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
 - アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用したコードレス工具の保守・点検・修理は受付けできません。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレススタッカについて、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

- ① 保護メガネを使用してください。
 - 作業中は保護メガネを使用してください。
 - 周りの人にも保護メガネをかけさせてください。
打ち損じのステープルが飛散することがあります。
- ② 騒音から耳を保護するため、防音保護具を着用してください。
- ③ 作業環境に応じてヘルメット、安全靴、防じんマスクなどの防具を着用してください。
- ④ 蓄電池を取付ける前に、次の点検をしてください。
 - ねじがゆるんでいないこと。
 - 損傷したり、はずれている部品がないこと。
 - さび付きなどで、正常に作動しない部品がないこと。
 - プッシュレバーを押し込んで上下させるとき、スムーズに動くこと。
 - 押し込んだプッシュレバーが元の位置に戻ること。
異常があるときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- ⑤ 蓄電池を取付けるときは、次のことに注意してください。
 - プッシュレバーの先に触れたり、対象物に当てた状態にしない。
 - 射出口を人体に向けない。
誤ってステープルを発射した場合、けがの原因になります。
- ⑥ 使用前に安全装置の点検をしてください。

本製品は、射出口を打ち込み対象物に当て、さらにスイッチを引くか、スイッチを引き、射出口を打ち込み対象に当てないと、ステープルが発射されない構造になっています。

ステープルを装てんする前に蓄電池を取付け、マガジンベースを開いて次の点検をしてください。

 - スwitchを引いただけで、モーターが作動しないこと。
 - プッシュレバーを打ち込み対象物に押し当てただけで、作動音がしないこと。
異常があるときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- ⑦ 人体に射出口を向けないでください。

誤って発射した場合、思いがけないけがにつながります。

⚠警告

- ⑧ 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
 - 高所作業のときは、ステープル打ち作業中に落ちることのないように十分足場の安全性を確認してください。
転倒や落下など、けがの原因になります。
- ⑨ 射出口付近に顔や手、足などの人体を近づけて作業しないでください。

誤ってステープルを発射したり、跳ね返って飛んだときなど、けがの原因になります。
- ⑩ 作業する箇所に、内部配線やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
- ⑪ 使用中は、機体を確実に保持してください。
- ⑫ ステープルを打ち込む材料の裏側に、手や体を置かないでください。

ステープルが突き抜けたり、材料が欠けたときなどに、けがの原因になります。
- ⑬ ステープルを打ち込むとき以外はスイッチをロックしてください。また、スイッチに指を掛けないでください。
 - スwitchに指を掛けて、持ち運びしたり、手渡しなどをしないでください。
 - ステープルを装てんするときや調整などをするとき、スイッチに指を掛けないでください。
誤ってステープルを発射する恐れがあります。
- ⑭ 次の場合は、スイッチをロックして、蓄電池を工具本体から抜いてください。
 - 使用しない場合や作業中断時。
 - 準備・保守・点検・調整、ステープル詰まりの直しなどの場合。
 - ステープルを装てん・抜き取りする場合。
誤ってステープルを発射する恐れがあります。
- ⑮ ステープルを打つときは、射出口を確実に対象物に当ててください。一度打ったステープルの上に、再度ステープルを打つことはしないでください。

ステープルが跳ね返ったり、機体が反発することがあります。

⚠警告

- ①⑥ 作業中は周りの人に注意してください。
- ステープルを連結している接着剤やテープの破片、打ち損じたステープルが当たる恐れがあります。
 - 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
機体や材料を落としたときなど、事故の原因になります。
- ①⑦ 薄い板や木材の端にステープルを打たないでください。また、壁の両側から同時にステープル打ち作業をしないでください。
ステープルが突き抜けたり、ステープルがそれたりすることがあります。
- ①⑧ 機体の反発に注意してください。
かたい所に打った場合、機体が跳ね返ることがあります。
- ①⑨ 以下の場所では、次のことに注意してください。
- 屋根などの斜面でステープルを打つときは、下から上に向かって前進しながら作業してください。
後退しながら作業すると、足を踏みはずす恐れがあります。
 - 床などの水平面でステープルを打つときは、前進しながら作業してください。
後退しながら作業すると、足をとられることがあります。
 - 壁などの垂直面にステープルを打つときは、上から下へ作業してください。
- ①⑩ 誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、蓄電池を取りはずして機体やステープルなどに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
また、次の点に注意してください。
- プッシュレバーを押し込んで上下させたときスムーズに動くこと。
 - 押し込んだプッシュレバーが元の位置に戻ることを。
- ①⑪ 精密部品を内蔵していますので、落下等の強い衝撃を加えたり、水にぬらしたりしないでください。
誤作動等をおこす原因になります。
- ①⑫ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
- 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。
- ①⑬ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。

⚠注意

- ① LEDライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目に当てないでください。
- ② スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。
- ③ 蓄電池は確実に取付けてください。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はリチウムイオン電池を使用します。リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

下記①、②、③の場合、本製品を使用中にモーターが停止することがあります。これは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
速やかに充電してください。
- ② 過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

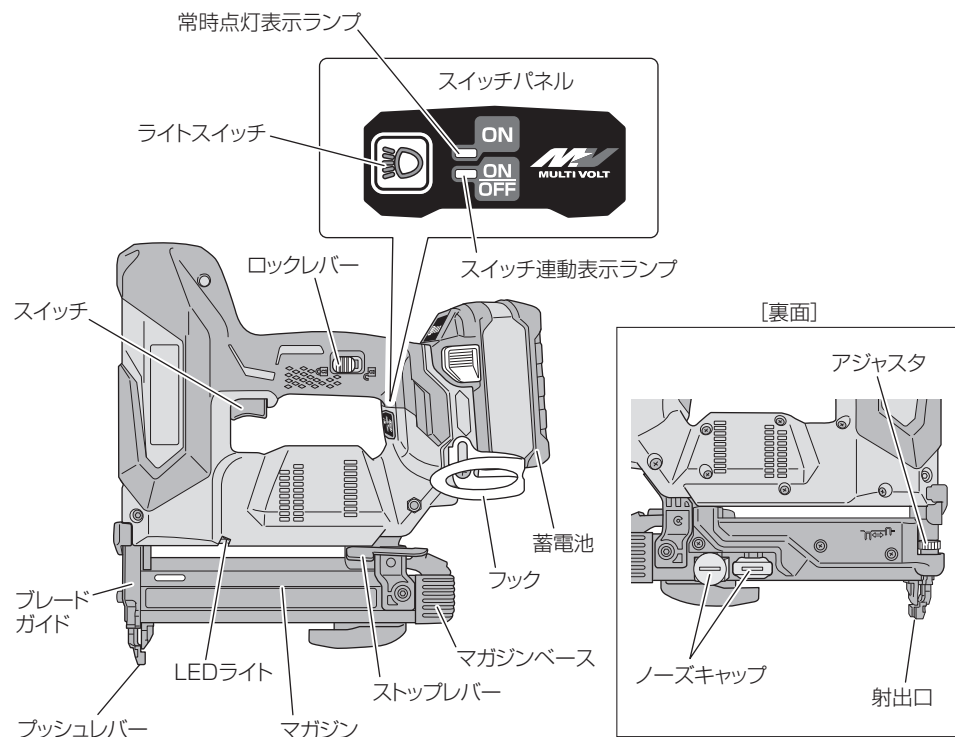
再びご使用になれます。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、蓄電池の取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を守ってください。

○ 蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証ができません。

各部の名称

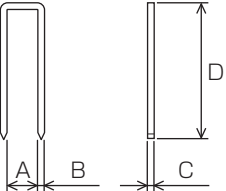


標準付属品

品 名	仕 様	XPZ	NNK
蓄電池 ●取扱い方法は、蓄電池の取扱説明書を 確認してください。		1 個	—
充電器 ●取扱い方法は、充電器の取扱説明書を 確認してください。		1 台	—
ノーズキャップ (A)*		1 個	1 個
ノーズキャップ (B)*		1 個	1 個
保護メガネ		1 個	1 個
収納ケース		1 個	1 個
電池カバー		1 個	—

※ 出荷時、工具本体の収納部に取付けてあります。(P.15「ノーズキャップの使い方」参照)

仕 様

形 名	N 3604DJ	N 3610DJ
使用ステープル	(寸法単位: mm) 	
	A	3.7
	B	0.6
	C	1.2
	D	13、16、19、22、25
ステープルの装てん数	100本(1連)	
モーター	直流ブラシレスモーター	
電池電圧	36V	
使用可能蓄電池	マルチボルトタイプ蓄電池	
工具本体寸法 全長×高さ×幅	270×255×83mm [BSL 36A18X 装着時]	
質 量	2.8 kg [BSL 36A18X 装着時]	
LED ライト	白色LED蓄電池	

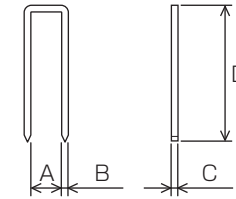
別売部品 (別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。)

ステープル

この機体は、下の表に示すステープルが使用できます。ステープルは約100本が1連に接着されています。

寸法はおおよその値を示しております。ステープルはこのタッカをお買い上げの販売店でお求めください。

注 ステープルは弊社指定のステープルを使用してください。
指定以外のステープルを使用するとステープル詰まりすることがあり、故障の原因になります。



(寸法単位: mm)

N 3604DJ					N 3610DJ				
形 名	A	B	C	D	形 名	A	B	C	D
B0413-2	3.7	0.6	1.2	13	B1013	10	0.6	1.2	13
B0416-2				16	B1016				16
B0419-2				19	B1019				19
B0419W2				19	B1025				25
B0419S2				19	B1025S				25
B0422-2				22					
B0422W2				22					
B0425				25					
B0425W				25					
B0425S				25					

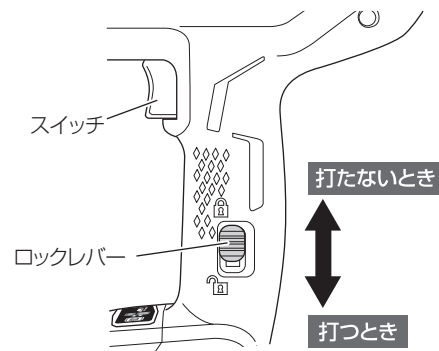
- ・Sはステンレスステープル
- ・Wはカラー(白)ステープル

スイッチのロック機構について

この機体には、スイッチを引けなくするロック機構が付いています。

ステーブルを打たないときは、ロックレバーを「」の位置にしてください。

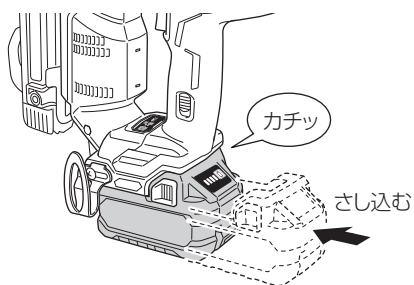
ステーブルを打つときは、ロックレバーをスライドして「」の位置にしてください。



蓄電池の取付け・取りはずし

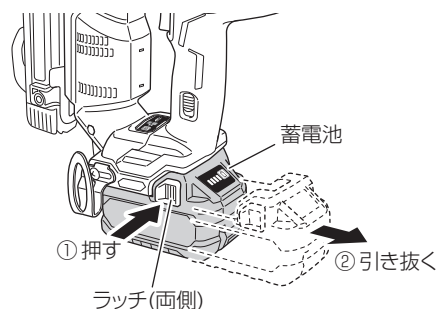
取付けるとき

「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。



取りはずすとき

両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。



フックの使い方

フックは、作業の合間に腰ベルトなどにつり下げる機能を持っています。左右に付け替えて使用することができます。

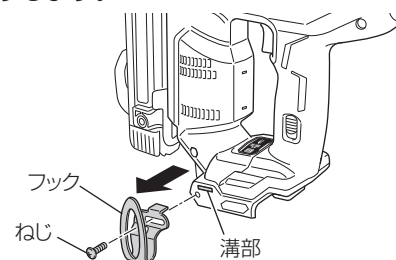
⚠注意

- フックを使用するときは、スイッチをロックし、蓄電池を工具本体から抜いてください。
- フックを使用するときは、機体が落下しないように、しっかりと掛けてください。
- フックはしっかりと取付けてください。

1

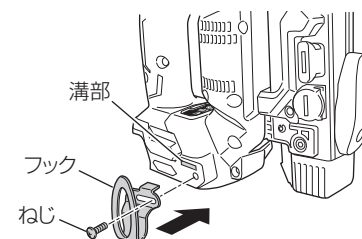
フックをはずす

プラスドライバーを使用してねじをはずします。



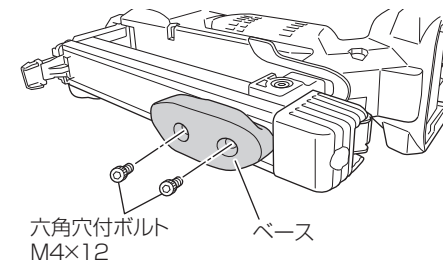
2

付け替えてねじを締付ける



ベースについて

ベースを取りはずして使用する場合は、六角棒スパナ 3 mm を使用して六角穴付ボルト M4 × 12 (2本) をはずすと、ベースが取りはずせます。



ノーズキャップの使い方

化粧合板など柔らかい物への作業は、プッシュレバーの先端にノーズキャップを取付けます。

表面をプッシュレバーで傷付けるのを防止できます。

本製品には、2種類のノーズキャップが標準付属されています。用途に合わせて使用してください。

ノーズキャップ (A)



柔らかい材料への打ち込みに適しています。

ノーズキャップ (B)



凹凸のある天井材への打ち込みに適しています。

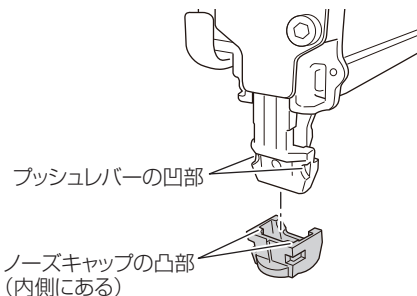
ノーズキャップの取付け・取りはずし

ノーズキャップはプッシュレバーに押し込むだけで取付けできます。

ノーズキャップの凸部が、プッシュレバーの凹部に合うように取付けてください。

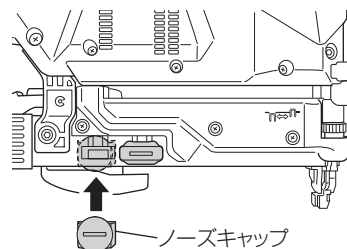
取りはずすときは、ノーズキャップを指で引いて、取りはずします。

取りはずしにくいときは、プッシュレバーのすき間にマイナスドライバーなどの細い棒を入れ、取りはずします。



ノーズキャップの保管

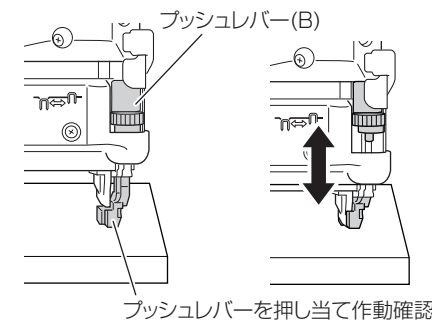
取りはずしたノーズキャップは、右図に示すように、マガジンにさし込んで保管してください。



プッシュレバーの作動確認

プッシュレバーを材料に押し当てて機体を上下させ、プッシュレバーとプッシュレバー (B) がスムーズに摺動することを確認してください。

動きが悪いときは、プッシュレバーの摺動部を清掃してください。



ステープルの装てん

⚠ 注意

ステープルの装てん・抜き取りの際は、スイッチをロックして、蓄電池を工具本体から抜いてください。

用途に合ったステープルを装てんしてください。(P.12「別売部品」参照)

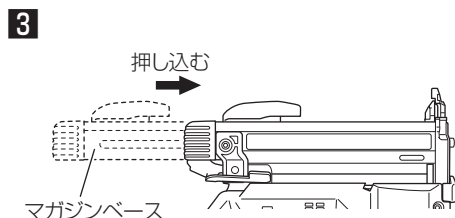
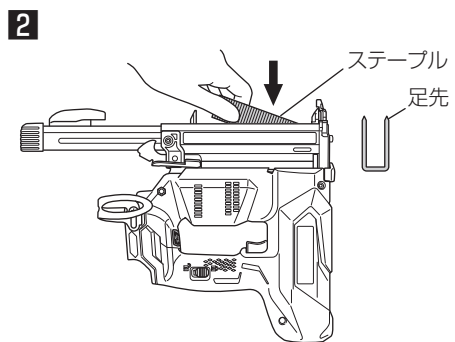
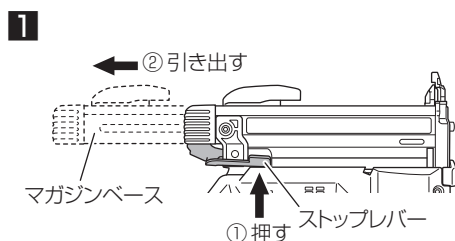
- 1 ストップレバーを押し、マガジンベースを後ろへ引き出します。

- 2 ステープルの足先を上にしてマガジンの中に入れます。

- 3 マガジンベースを元どおり押し込むと、ストップレバーでロックされます。

注 マガジンベースは静かに閉めてください。
強く閉めると、ステープルの連結が変形して、マガジンベースが閉まらないことがあります。

- 注**
- ステープルは5本以上連結された物を使用してください。
 - 長さの違うステープルを同時に装てんしないでください。
 - 連結本数の少ないステープルを、一度に数連装てんしないでください。
ステープル詰まりなど、不具合の原因になります。
 - 本機は13 mm から 25 mm までの長さのステープルが使用できます。
いずれの長さのステープルも足先をマガジン下部の溝底に突き当ててください。



ステープルの打ち方

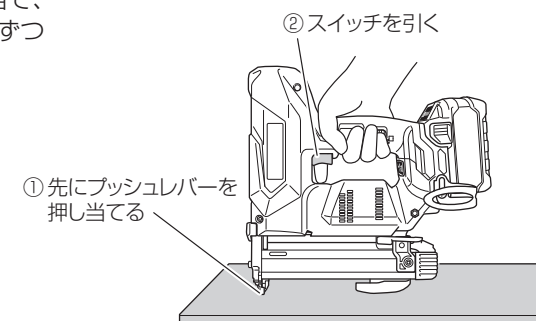
この機体は、打ち込み対象物によって、効果的な使い方ができるように「単発打ち」と「連続打ち」が使い分けできる機構を装備しています。

● 単発打ち

単発打ちは、仕上げを重視する場合や狙った所にステープルを打つ場合に使用します。

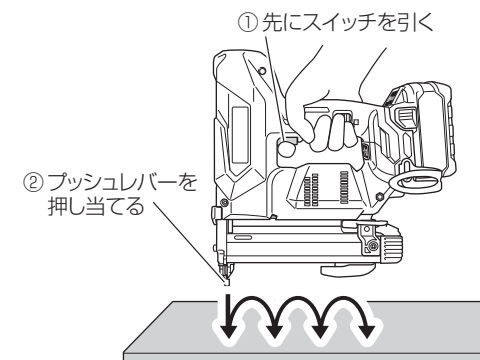
打ち込む所にプッシュレバーを押し当て、スイッチを引くと、ステープルを一本ずつ打つことができます。

- 注** 狙った所にステープルを打つ場合、または仕上がりを重視する場合は、単発打ちで作業してください。



● 連続打ち

連続打ちは、はじめにスイッチを引いておき、その後、ステープルを打つ所に、プッシュレバーを「トン・トン・トン」と押し当てれば、連続的に作業ができます。



- 注** 単発打ちでスイッチを引いたまま、再度プッシュレバーをステープル打ちする所に押し当ててもステープルは発射されません。続けて連続打ちする場合は、スイッチから指を一度はなしてから、連続打ちの操作をしてください。

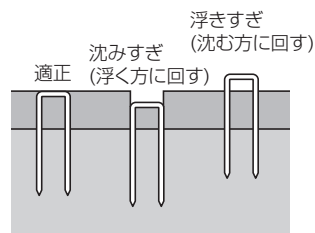
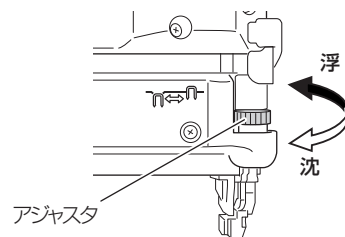
打ち込み深さの調整

アジャスタを回すことにより、打ち込み深さを調整できます。

試し打ちし、ステープルが沈みすぎるときは、アジャスタを浮く方（マーク ↑）に回します。

ステープルの頭が浮くときは、アジャスタを沈む方（マーク ↓）に回します。

アジャスタは、1回転させるごとに0.75 mm 移動します。



空打ち防止機構について

この機体はステープルがなくなった後の空打ちを防ぐため、空打ち防止機構を備えています。

ステープルがなくなると、機体が作動しなくなります。

注 マガジンベースを引き出すと空打ち防止機構が無効になります。

空打ちを続けると各部に影響を与えるので、不要な空打ちをしないよう注意してください。

ステープルの取扱い方

注 •ステープルは、ていねいに扱ってください。

落とすと、連結部が切れることがあり、そのままの状態で使用するとステープル送り不良により、空打ち、ステープル詰まりなどが発生することがあります。連結部が切れたステープルは使用しないでください。

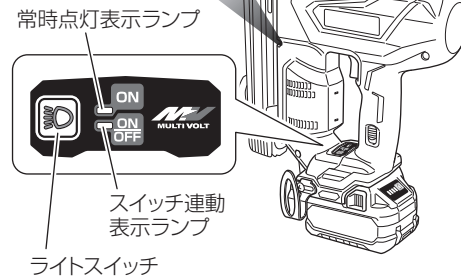
•ステープルは長時間外気や直射日光にさらさないでください。

さびの発生や、連結部に不具合が生じる場合があります。ステープル梱包箱などに入れて保管してください。

LED ライトの使い方

電源スイッチが ON の状態でライトスイッチを押すと、LED ライトが点灯します。

また、ライトスイッチを押して LED ライトの点灯モードを切り替えることができます。



点灯モード	スイッチ連動	OFF	常時点灯
ランプの点灯状態			
状態	プッシュレバーを押し付けたとき、またはスイッチを引いたとき点灯 (スイッチをはなしてから約 30 秒後に自動消灯)	消灯	点灯 (約 2 分後に自動消灯)

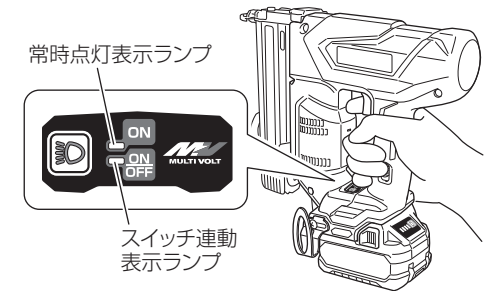
- 注** ●常時点灯モードは、LED ライトの消し忘れによる蓄電池の消耗を防止するため、約 2 分経過すると自動で消灯します。
- ライトのレンズ部に付着したごみは、柔らかい布などでふき取り、ライトのレンズ部に傷が付かないように注意してください。
ライトのレンズ部に傷が付くと、明るさが低下する原因になります。

警告シグナルについて

本製品は、工具本体の状態を検出する機能が付いており、作業中に各検出機能が作動すると、点灯モード表示ランプが以下のように点灯してお知らせします。

各検出機能が作動したときは、直ちにスイッチから指をはなし、対処方法に従ってください。

注 対処方法を実施しても改善しない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。



状 態	表示ランプ	対処方法
電池電圧低下状態※	緑色片側点滅	蓄電池を充電してください。
過負荷状態	赤色点滅 (約 8 秒後、電源が切れます)	蓄電池を抜き、P.25「保守・点検」に従い、大きな負荷となった原因(プッシュレバーの溝に詰まったステーブル等)を取り除いてください。
その他	その他の点滅	故障の可能性があります。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
高温状態	LED ライト明暗点灯 + 緑色明暗点灯	蓄電池および工具本体を十分に冷ましてください。
故障の可能性	LED ライト点滅 + 赤色交互点滅 (約 10 秒後、電源が切れます)	続けて何度も起こる場合は故障の可能性があります。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

※ 低温状態のときは、蓄電池残量があっても「電池電圧低下」を検出する場合があります。

ステープルを打つ

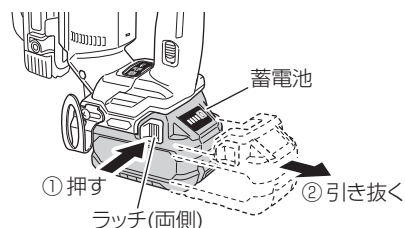
- 建築、新建材の固定、建築部材製造
- 吸音ボード、壁下石こうボード、化粧合板（プリント合板）、断熱材張り作業
- 家具の製造

警告

- スイッチを引くときは、他の指でプッシュレバーなどを固定しないでください。誤ってステープルが発射した場合、けがの原因になります。
- 一度打ったステープルの上に、再度ステープルを打つことはしないでください。

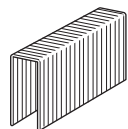
1 蓄電池を取りはずす

誤操作防止のため、蓄電池を工具本体より抜いてください。



2 ステープルを装てんする

作業の用途に合った寸法のステープルをマガジンに装てんしてください。(P.17「ステープルの装てん」参照)



3 ノーズキャップを取付ける

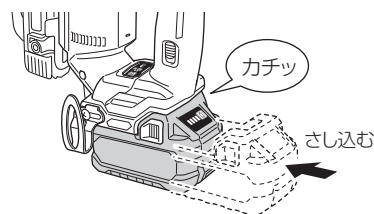
必要に応じてノーズキャップを取付けてください。(P.15「ノーズキャップの使い方」参照)



注 低温時に使用すると、機体の動きが悪くなることがあります。蓄電池を充電して使用してください。

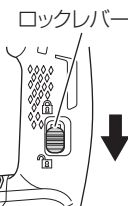
4 蓄電池を取付ける

「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。



5 ロックレバーのロックを解除する

ロックレバーをスライドして、スイッチのロックを解除してください。(P.13「スイッチのロック機構について」参照)

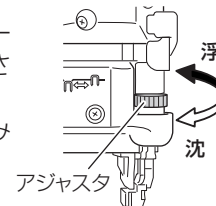


6 打ち方を選択する

作業に応じて「単発打ち」「連続打ち」を選択します。(P.18「ステープルの打ち方」参照)

7 ステープルを打つ

必要に応じてステープルの打ち込み深さを調整します。(P.19「打ち込み深さの調整」参照)



- 注** ● 材料のかたさ・厚さ・組み合わせによってはステープルが曲がる場合や材料が割れる場合がありますので、試し打ちをしてから使用してください。
- 打ち込む所にプッシュレバーをしっかり押し当てないと、ステープルが浮く場合があります。

8 作業を終了する

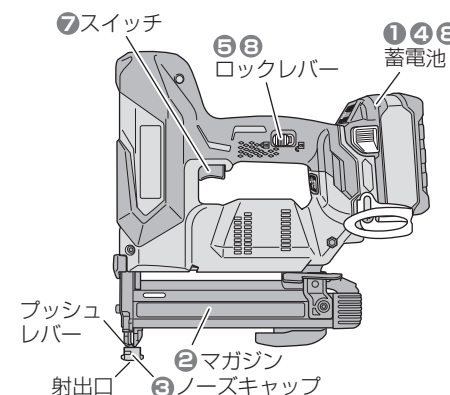
作業後は、スイッチをロックして、蓄電池を工具本体から抜いてください。さらに、ステープルを全部抜き取ってください。

安全装置について

本製品は、スイッチを引いただけのとき、またはプッシュレバーを打ち込み対象物に押し当てただけでは、ステープルは発射しません。

これは、誤ってスイッチを引いたり、プッシュレバーを押し当てただけでステープルが発射されることを防ぐためです。

また、プッシュレバーを押し当てたまま4秒以内にスイッチを引かない場合、またはスイッチを引いたまま4秒以内にプッシュレバーを押し当てない場合は打てません。このときは、対象物からプッシュレバー、またはスイッチをはなしてください。



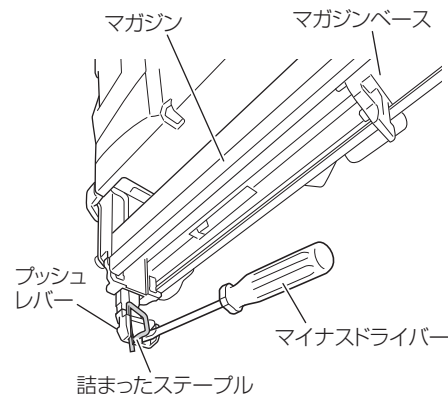
保守・点検

⚠警告

- ステープルが詰まったときは、スイッチをロックし、蓄電池を工具本体から抜いて使用を中断してください。ステープルが詰まった状態で機体を作動させないでください。
- ステープル詰まりを直すときや保守・点検の際は、スイッチをロックし、蓄電池を工具本体から抜いてステープルを全部抜き取ってください。
- 損傷したり、はずれていたりする部品や、さび付きなどで、正常に作動しない部品がないことを点検してください。

●ステープル詰まりの直し方

- ① ストップレバーを押し、マガジンベースを引き出し、マガジンに入っているステープルを全部抜きます。
- ② プッシュレバーの溝に詰まったステープル、接着剤、破片、木くずなどをマイナスドライバーなどで取り除きます。
- ③ プッシュレバーがスムーズに摺動することを確認してください。
(P.16「プッシュレバーの作動確認」参照)



注 ステープル詰まりを直した後は、ステープルを装てんし、試し打ちしてから使用してください。

●マガジンの点検

マガジン内部を時々掃除してください。
マガジンベースを引き出して、溝の中にたまったステープルの接着剤、ごみ、木くずなどを取り除いてください。

注 マガジンの内部が汚れると、ステープルの動きが悪くなり、空打ちが発生しやすくなります。

●機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。
異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

●清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が 50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
- 軒先など雨が降りかかる場所、湿気がある場所
- 温度が急変する場所、直射日光が当たる場所
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質が置いてある場所